研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-83C		17-085	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Alcohol consumption and mammographic density in the Danish Diet, Cancer and Health cohort.

デンマークの食事、がん、健康に関するコホート研究におけるアルコール消費とマンモグラフィー濃度

執筆者

Jacobsen KK, Lynge E, Tjønneland A, Vejborg I, von Euler-Chelpin M, Andersen ZJ.

掲載誌

Cancer Causes Control. 2017 Dec;28(12):1429-1439. DOI: 10.1007/s10552-017-0970-3

キーワード	PMID
アルコール消費、乳がん、乳腺濃度、マンモグラフィー濃度	28965165

要　旨

目的：

年齢別と酒別を考慮して、マンモグラフィー濃度（MD）とアルコール消費の関連を明らかにすること。

方法：

The Danish Diet, Cancer and Health cohort に参加した女性のうち、マンモグラフィー検査に参加した 5,356 名を対象とした。初回の検査結果を MD 型（高濃度型または脂肪型）の評価に用い、アルコール消費はコホート登録時の調査に基づいた。アルコール消費については酒別、年代別に 1 週間当たりの飲酒頻度などが調査された。アルコール消費と MD の関連は、ロジスティック回帰で推定し、オッズ比（OR）と 95%信頼区間（95%CI）を算出した。

結果：

20-29 歳で週 7 杯より多く飲酒する者は、同年齢群の非飲酒者に対して、高濃度型 MD である OR (95%CI) は 1.31 (1.00-1.72) であった。酒別では、20-29 歳のうち週 3-7 杯の蒸留酒飲酒者は、非飲酒者に対して、高濃度型 MD である OR は 1.74 (1.12-2.72) であり、週 7 杯より多く飲酒する者では、1.76 (0.73-4.23) であった。この傾向は、他の年齢群や酒別では認められなかった。

結論：

成人後の初期段階である 20-29 歳で、蒸留酒を大量飲酒する女性では、高濃度 MD であることが示唆された。